


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章			<b>都立大森高等学校</b> 全日制課程		進路実績	四年制大学 16%	短期大学 2%	専門学校 46%	就職 21%	その他 16%			
	敬愛・誠実・努力 一時を守り 場を清め 礼を正す					特徴 キャリア教育、進路ガイダンス	主な部活動 硬式野球、男女バレーボール、男女バスケットボール、サッカー、陸上競技、バドミントン、剣道、柔道、卓球、硬式テニス、ダンス、吹奏楽、軽音楽など						
基本情報	所在地	〒144-0051 大田区西蒲田二丁目2番1号		電話番号	03-3753-3161								
	アクセス	(1) 東急池上線池上駅下車徒歩8分 (2) JR京浜東北線蒲田駅下車徒歩15分 (3) JR大森駅西口より東急バス蒲田駅又は池上駅行き(約10分)堤方橋下車徒歩5分											
本学情報	学科	普通科											
	在籍生徒数	男子303名 女子310名 計613名											
報	教育課程の特徴	1年次からの少人数・習熟度別授業(国・数・英) 2年次からの文理系進路別クラス編成											
	ホームページ	<a href="http://www.omori-h.metro.tokyo.jp/">http://www.omori-h.metro.tokyo.jp/</a>		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)									
その他	ゆめナビプロジェクト研究校	地域密着型教育推進校	校服	制服	男子・ブレザー(紺) 女子・ブレザー(紺)								
	募集人員	推薦:男子24人・女子22人 一般:男子100人・女子91人											
本学選抜情報	入学者	29年度入学生	推薦	男子	2.63	30年度入学生	推薦	男子	1.88	31年度入学生	推薦	男子	2.04
				女子	3.41			女子	2.32			女子	2.73
報	その他の特徴	学力検査	学力検査	男子	1.44	学力検査	学力検査	男子	0.85	学力検査	学力検査	男子	0.89
				女子	1.34			女子	0.86			女子	0.92
その他 29年度から推薦入試で文化・スポーツ等特別推薦(野球、女子バレー、吹奏楽)を実施。					主な学校行事 体育祭(5月)、森高祭(9月)、フィールドワーク(11月)、マラソン大会(2月)								

目指す学校

- 生徒が互いの人格を敬い、相手の立場を思いやり、学び合う学校
- 生徒が「時を守り、場を清め、礼を正す」学校
- 生徒が自らを律することのできる規範意識と社会に出たあとも学び続けようとする向上心を育む学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>生活指導</b> 生活指導統一基準を基に挨拶の励行、ルールを守る、身だしなみを整える等基本的な生活規律を適切に指導し、規範意識と自律心を育てる。体罰の根絶やいじめの未然防止、早期発見、早期対応に向け、学年を超えた連絡体制を構築するとともに、生徒一人一人の心の健康に対応できる相談体制を確立する。	生徒にはHRや学年集会等を通じて、また、保護者にはプリントを配布し指導方針の周知を行った。授業規律を徹底させ、授業中の無断中抜けに対しては毅然とした態度で指導を行うなど、基本的な生活規律についての徹底を図った。 登下校時の交通ルールを遵守することの大切さは、日頃のHR活動、安全教室など機会あるごとに周知を行った。自立支援担当教員を中心に、HR担任、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカーとの連携を強めるようにし、生徒一人一人に対する相談体制を確立した。	
目標②	<b>学習指導</b> 教科主任を中心に各教科で指導目標を定め、授業規律を徹底させた教科指導を実践するとともに、主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業改善に取組み、学力の向上を図る。「ゆめナビプロジェクト研究校」として、教員同士情報を共有し、組織的に指導できる体制を確立させる。	年間授業計画の基、適切に教育活動を行、授業始業時に、携帯電話を鞆にしまわせるなどして、授業規律の確立に努めた。 若手教員を中心にICT機器を活用した研究授業を実施するなど、生徒同士の深い学びを実現させる手立てを模索した。習熟度別展開授業や少人数制の授業など、きめ細かい授業の展開しを組織的に実施した。 長期休業中、空調設備の集中工事期間にもかかわらず16講座延べ345名が参加した講習を実施した。	
目標③	<b>進路指導</b> 進路指導部を中心として、3年間を見通したキャリア教育を計画的に実施し、生徒の進路意識を高めるとともに、広い視野で社会を見る眼を育てる。また、生徒の進路希望に応じた補習・講習の充実を図り、進路未決定者を減らす。	1、2年生において、各学期に一回進路ガイダンスを実施し、進路意識の啓発を図った。また、生徒が主体的に進路を選択できるように、本校で作成した「進路ノート」を有効活用した。 三者面談を各学年で実施し、生徒本人、保護者とHR担任との情報共有を図った。 英語科と国語科が主体となり検定指導を行い、英語検定と漢字検定について昨年度並みの受検者数を確保した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	進路未定者の割合を15%以下にする。	12%	16%	10%	24%	20%	16%	15%	14%	15%	15%	15%
目標②	長期休業日中の基礎講座・進学講座の補習・補講を12日以上行い、参加者を300人以上にする。	450人	304人	350人	221人	230人	388人	300人	345	300人	300人	300人
目標③	生徒の部活動加入率を60%以上にする。	65%	66%	67%	62%	63%	58%	60%	57%	60%	60%	62%

# 都立大森高等学校



●わかる授業 ●活発な部活動 ●きれいな校舎 ●盛り上がる行事



**根拠のない自信をもとう！**

**「私はきっとできる」という強い思いを胸に秘めつつ、努力を積み重ねていけば、いずれできるようになっていくはずです。**

**まずは「根拠のない自信」をもつことから始め、勉強以外に部活動にも挑戦しましょう。**